

第89回関西広域連合委員会

日時：平成30年1月25日（木）

午後5時25分～午後6時05分

場所：大阪府咲洲庁舎2F 咲洲ホール

開会午後5時25分

○広域連合長（井戸敏三） それでは、第89回の関西広域連合委員会、また15分も開会が遅れましたけれども、今から開会させていただきたいと思います。

協議事項が4つと報告事項が14ありますので、簡潔にご報告等をしてしながら進めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

まず最初は、関西広域救急医療連携計画についてです。これは飯泉委員からご説明がございます。よろしくお願いいたします。

○委員（飯泉嘉門） 次期の関西広域救急医療連携計画の最終案、実は11月の連合委員会でも報告したその中間案から、ドクターヘリが7機体制、鳥取が入ります、これを災害時における機動的かつ効果的なドクターヘリの運航体制の検討であるとか、今日も関西医療・健康創生会議の取組が出たところではありますが、AI、IoTを活用した健康・医療のビッグデータの活用、こうしたところの連携・推進について追記をさせていただいたものであります。

また、鳥取県のドクターヘリの愛称につきましては、鳥取県を中心に全国から337件ご応募をいただきました。現在、選考作業を進めているところでありまして、第三機関であります関西広域救急医療連携計画推進委員会で決定をさせていただき、選考結果については、次回、3月3日の連合委員会で報告をさせていただきます。

なお、鳥取県のドクターヘリにつきましては、2月から管内で飛行訓練を行う予定となっているところでありまして、3月の運航開始に向けまして引き続きしっかりと準備を進めたいと考えております。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） それでは、よろしゅうございますね。

では、続きまして、関西観光・文化振興計画につきまして、局長、お願いします。

○広域観光・文化・スポーツ振興局長 関西観光・文化振興計画の最終案についてでございます。9月の連合委員会、それから10月に産業常任委員会にお示しをさせていただいた後にパブリックコメントの実施、それからはなやか関西・文化戦略会議、関西観光・文化振興計画検討委員会で議論を再度いただきまして、それぞれ意見も頂戴した中で最終案をまとめさせていただきました。その中間案からの新旧につきまして、資料2にまとめをさせていただいております。

1つは、サブタイトルと、2の計画の基本方針と将来像のところになります。別添資料の1の2ページになりますけれども、サブタイトルにつきまして、これまでの訪日外国人1,800万人を目指すというキャッチアップ型ではなく、既に1,200万人を超える方々がお越しになられていることから、関西としての文化観光首都の地位を確固たるものにするという将来像に改めたらどうかというご指摘を受けました関係で変更させていただいております。

そして、別添資料1の11ページにある3の現状と課題でございますけれども、産業環境常任委員会で、旅行消費額を拡大する取組について記載すべきではないかというご意見をいただき、その追記をしております。

次に、5の目標達成のための戦略についてでございます。別添資料の13ページになりますが、国際競技大会等を踏まえた観光の推進、文化力の向上と文化観光の推進の部分につきまして、文化や経済などほかの分野につながることに付いて明文化すべきではないかというご意見をいただきまして、その旨の記載をさせていただいております。

同じく別添資料の15ページに宿泊施設不足への対応という項目を新たに追記させていただいております。これにつきましては、パブリックコメントにおいて、住宅宿泊事業についての記載をすべきではないかというご意見をいただき、資料2にあります

文章を追記させていただいております。

また、同じく15ページの⑦の新技术の活用という部分につきまして、現在のI o T、ビッグデータなどの科学技術を活用する部分でエンターテインメント性、それから安心・安全、そういういろいろな部分の活用にすべきということがございますので、その部分を付記させていただきました。

最後に、戦略テーマのVとして、旅行消費額拡大に向けた取組を新たに付記させていただいております。これは課題で産業常任委員会でも意見をいただき、旅行消費額を拡大する取組について、関連する表現を入れさせていただきました。

そのほか、観光庁から1月16日に最新の訪日外国人データ等が出ておりますので、既存のデータにつきまして最新の部分に改め、最終報告案という形でお示しさせていただきます。

計画の改定につきましては以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） ありがとうございます。

観光・文化振興計画につきまして、ご質疑なりご意見ございましたらお願いします。よろしゅうございますでしょうか。いずれにしても、新しいデータに置きかえていただいて、最終的に取りまとめるということになりますので、もしそのデータを見ていて、特徴的なところを書き込んだほうがよければ書き込んでいただいてもいいのではないかと思いますから、よろしく願いいたします。

続きまして、29年度3月補正予算につきましてご説明をさせていただきます。

○事務局 資料3をお願いいたします。3月補正予算の概要についてです。

歳出、歳入予算ともに3月補正額は1,848万1,000円の増額を計上し、補正後の予算額は21億5,263万4,000円となります。

項目1、歳出予算では、ドクターヘリ事業の運航経費等の増額を行いますとともに、歳出見込みの精査により各種事業費の減額を行います。

項目2、歳入予算では、ドクターヘリ事業に係る雑入の減額及び資格試験・免許事

業に係る手数料収入等の減額を行いますとともに、歳出予算の増額に応じた負担金等の増額及び手数料収入の減額に応じた基金繰入金の増額を行います。

次のページをお願いいたします。2ページには補正後の予算全体の姿。

3ページをお願いします。3ページには構成団体負担金の内訳を添付していただきますので、ご参照をお願いいたします。

説明は以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 増えておりますのは3府県ヘリですね、運航回数が相変わらず大変多くて増加しているんですが、今度、鳥取県ヘリができますでしょう。東部は、やはり3府県ヘリのカバーエリアに予定されているということによろしいですか。

○委員（飯泉嘉門） はい。それで、実際、出動回数が50ぐらいという話がありますので、一気に減るといのはなかなか想定しづらいのではないかとということですね。

それから、今のお話というのは、委託契約で運航時間250時間を超えた場合には、実は運航経費が増額になるという、その契約の形態から来るものです。

あと、鳥取県のドクターヘリはやや減額になる部分でして、ここは逆にヘリの運航委託会社において運航連絡調整員を抱えてくれという形を契約でやったものですから、ここは減額に。あわせて増額、4,054万8,000円の増額ということになります。

○広域連合長（井戸敏三） 最終補正で係数整理の補正もいたしますので、どうぞよろしくご理解いただきたいと思います。

それでは次に、職員定数条例の改正につきましてご説明をいたします。

○事務局 資料4をお願いいたします。職員定数条例の改正についてです。

平成31年度からの資格試験の新事務の実施に向けまして、体制強化を図りますため、薬剤師1名、担当1名を拡充配置することに伴いまして、職員定数条例第2条第2項第1号中、5人を7人に改めるものでございます。これによりまして、定数の計は44人から2人増えまして46人となります。施行期日は平成30年4月1日といたします。

3 ページをお願いいたします。関連いたしまして、関西広域連合規約の変更についてご報告をさせていただきます。

通訳案内士法の一部改正が行われたこと並びに資格・試験での新事務実施に伴う規約の変更につきまして、平成30年1月4日付で総務大臣の許可が得られましたのでご報告をさせていただきます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） それでは、お聞き取りいただいたとおりで、よろしくお願いを申し上げます。

続きまして、万博の誘致活動についての報告をお願いします。

○副委員（濱田省司） 資料の5をお願いいたします。大阪府でございます。

万博の誘致活動について2点だけご報告をさせていただきます。資料の2ページをお願いいたします。

かねてお願いしております誘致委員会への会員の登録の状況、一番上の右側でございますように、個人・企業合わせますと約21万人という数字まで積み上がっております。ご協力ありがとうございます。その下の真ん中にありますように、その他のイベントの時におきます署名活動などによりまして19万4,000万人余りに賛同の署名をいただいております。足し合わせますと、下の枠にありますように40万人以上の個人・法人の賛同を獲得しているということでございます。下にパリの数字を書いております。フランスの動向などについて報道もされておりますけれども、やはりこの数字がこの国内の圧倒的な盛り上がりを示す、数字で示すものになると思いますので、引き続き上積みを図ってまいりたいと思います。ご協力をまたお願いしたいと思っております。

それから、3 ページでございますが、この盛り上がりは数字で表していくものとしたしまして、地方議会などにおきます誘致決議に取り組んでまいっております。おかげさまで広域連合のエリア内の各縣市にはご協力いただいておりますが、この真ん中

にあります、例えば宮城県、茨城県等々でございます、エリア外でも全国の都道府県に大阪府議会正副議長等が働きかけを行ってございまして、そこに書いておりますように、関西エリア以外でも議決をいただくように引き続き取り組んでおりますので、また状況について今後ご報告をさせていただきたいと思っております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 3月の事務局調査もありますから、しっかり取り組んでいきたいと思っております。

それでは続きまして、ワールドマスターズゲームズの大会準備状況につきまして、組織委員会から来ていただいておりますので、ご報告をお願いしたいと思っております。

○関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会 関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会広報誘客部長の松尾でございます。よろしくお願いいたします。

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の準備状況についてご報告いたします。資料6をご覧ください。

本年9月に、アジア太平洋地域で初となるアジアパシフィックマスターズゲームズ2018ペナン大会がマレーシアで開催されます。組織委員会では、海外から2万人の参加者獲得を目標としており、目標達成には、そのうちおよそ5,000人をアジアから確保したいと考えておりますが、特にアジア地域ではワールドマスターズゲームズがあまり知られていないことから、大会周知が課題となります。このため、ペナン大会参加者へのPRと、アジアにおける誘客活動の足がかりの確保は不可欠であり、組織委員会といたしましては、ペナン大会を活用した関西大会のPR及び関係団体等への参加促進に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

まず、①関西大会のPRについてでございますが、大会期間中に現地にPRブースを設置するとともに、日本人参加者を通じた競技会場等でのPR活動や、今後の調整にはなりますが、会長等によりマレーシア政府関係者やペナン州政府幹部等に対しまして関西大会への誘客への協力依頼を行うなど、トップセールス活動を行ってまいり

たいと存じます。

次に、②関係団体等への参加促進についてでございますが、大会準備の参考や各地域における機運醸成を図るため、開催府県政令市実行委員会等に対し、地元住民や開催競技関係者へのペナン大会参加への働きかけを行うなど、ペナン大会への参画PRについてご協力をお願いできればと存じます。

あわせて、ペナン大会への参加を促すため、国内の旅行会社に対しまして、旅行商品の造成等についても働きかけを行ってまいります。

裏面には、ご参考といたしまして、ペナン大会の概要について記載しております。

以上でございます。よろしくお願いたします。

○広域連合長（井戸敏三） 併せまして、準備事務は来年度、平成30年度は本格化してまいりますので、その準備事務の体制整備につきましてもご相談を申し上げておりますので、ご協力のほどをよろしくお願をいたします。また、開催市町におきましてもぜひ実行委員会をつくっていただくようにご指導賜りましたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

それでは続きまして、関西女性活躍推進フォーラムの開催結果についてご報告をお願いたします。

○事務局 本部事務局でございます。

資料7をご覧ください。12月27日の午後、第1回関西女性活躍推進フォーラムを関西経済連合会に会場をご提供いただきまして開催いたしました。

1の全体会でございますが、年末にもかかわりませず9割近い41名の方にご出席をいただきました。まず、連合委員を代表して竹山堺市長からご挨拶いただき、あわせて堺市の取組についてもさまざまご紹介をいただきました。また、関西経済連合会からは労働政策副委員長で相互タクシーの小野社長様からご挨拶と、女性活躍推進に向けた決意表明をいただいております。

その後、座長には、元横浜市の副市長で、甲南大学マネジメント創造学部教授の前

田委員を、そして、座長代理には兵庫県立大学の政策科学研究所教授の三崎委員を選出していただきました。さらに、前田座長からのご指名で、企画委員会の設置と、企画委員に三崎座長代理はじめ有識者のほか、計14名の皆様をご指名いただきました。これにつきましては、出席者とともに次の3ページに名簿を記載しておりますので、ご覧ください。

それから、報告といたしまして、内閣府の地域働き方改革支援チームの委員で東レの研究所の渥美委員から、ダイバーシティ、女性活躍推進を進めるためのポイントについてご紹介いただき、また、さまざまな取組事例もご紹介をいただきました。

それから、裏面の2ページをご覧ください。

続きまして、関西での先進的な取組事例としまして、経済団体等との連携によるさまざまな取組を行われております京都の取組をご紹介いただいたところです。

その後、わずかではございましたが意見交換も行われまして、その中で、内閣府からご出席いただいた調査官からのご提案としまして、京都の取組としてご紹介された中で、女性の役員育成研修、それから男性リーダーの会という取組をされておりますが、これについてはぜひ関西広域でも取り組んでいただいてはどうかというご提案がございました。

この全体会に引き続きまして、その次の2ですが、早速、企画委員会が開催されまして、委員長である前田座長から、副委員長に三崎座長代理が指名されまして、2時間たっぷり意見交換をしていただいております。

意見につきましては資料に記載しておりますが、関西ブランドの魅力は若干低下しているので、総力戦で、魅力ある企業は多いのだから、団体戦で頑張らないといけないというような座長のお話のほか、さまざまな取組の提案がございました。

3の今後の予定でございますが、第1回での意見を整理しつつ、次回の検討委員会、企画委員会で引き続き意見交換を行う予定にしておりまして、企画委員会については2月の中旬に第2回を予定いたしております。

なお、その後はいろいろご意見を全体会からもお聞きして、30年5月以降で全体会を開催させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○**広域連合長（井戸敏三）** 会議のための会議になってもいけませんから、スケジュールを決めて、中間報告とか提言を来年度の、例えば秋なら秋にまとめていただくとかというような運用をぜひ検討していただいたらと思います。来年度の秋だと、各加盟メンバーの当初予算の検討に間に合うということになると思いますので、そのような運びをしていただいたらありがたいんじゃないかと思いますので、お願いします。

続きまして、広域行政のあり方検討会の報告です。

○**事務局** 資料8をお願いいたします。第5回の広域行政のあり方検討会の概要についてご報告をいたします。

第5回検討会は、全委員ご出席のもと、去る1月21日の午後3時から開催をいたしました。まず、新川座長からイタリアの地方自治制度についてご説明をいただいた後、意見交換を行いました。

次に、第1回から第4回までの検討会でのご議論について、事務局での論点整理について意見交換を行い、次回までにさらに事務局で論点整理等を行い、今後の議論の方向性について検討を深めることとされたところでございます。

当日の議論の要旨につきましては、1ページの中段以降に記載をしておりますので、お目通しをいただければと存じます。

簡単ではございますが、以上でございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** これ、イタリアの制度はフランスに似てるんですか。

○**事務局** はい。フランスによく似ております。これはスペインと同じですけれども、州議会が国会へ法案を提出できるとか、あるいは国と地方との間での協議の場が法律で定められているとかいう、そういう参考とすべき特徴がございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** ありがとうございます。

一度適当な時期に各委員とこのメンバーとご議論いただく機会をつくりたいと思っ

ておりますので、これ、1時間ぐらい持たないと実質的な議論になりませんので、いつ持つかを委員会と一緒に計画させていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

それでは続きまして、地方分権改革に関する提案募集の結果につきましてご報告します。

○事務局 資料9をお願いいたします。

申し訳ありません、まず、誤字がございましたので訂正をさせていただきます。2の共同提案の対応状況という表でございますけれども、表の右の下から4つ目、「農業基盤整備促進事業における面接要件」とありますけれども、「面積」の誤りでございます、誠に申し訳ございません。

それでは、簡単にご報告をさせていただきます。12月26日に国の最終の対応方針が閣議決定されたところでございます。1の連合提案の対応状況は、前回、12月21日の連合委員会でご報告をしたとおりでございますので、省略をさせていただきます。

次に、2の共同提案の対応状況は、中ほど、網かけの調整対象区分合計の15項目が内閣府と関係府省の間で調整が行われたものであり、一番上の実現及び実現されそうなものとして、移行法人に係る公益目的支出計画の実施完了確認の提出書類の削減など8項目、今後必要となる検討が行われるものが2項目、提案内容とは異なる措置がとられるものは1項目、計11項目が提案の趣旨を踏まえて対応することとされました。

さらに、現行規定で対応可能とされたものが1項目、実現できなかったものが3項目であり、これら15項目については次のページに具体的な提案項目を表にまとめております。

そして、予算編成過程での検討を求める提案とされたものが11項目、具体の支障事例が示された際に調整することとされたものが5項目、提案募集の対象外とされたものが3項目でございます。

最後に、一番下、3、今後の対応ですが、来年度も引き続き大括りの提案を行うな

ど粘り強く対応するとともに、国からの権限移譲に係る実証実験制度の創設など、分権改革の新たな手法についても引き続き国へ提案していく予定でございます。

ご報告は以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 相変わらずきめの細かい事務しか成果を上げておりませんので、やはり広域連合としては大括りの事務の移管等についてしっかりと働きかけていく必要があるのではないかと考えております。

それでは続きまして、オーストラリアの訪問についてであります。ご報告をお願いします。

○副委員（山下晃正） 資料10をご覧いただきたいと思います。

昨年4月にトッププロモーションを行い、その際、カンタス航空に対して関空への直行便就航のお願いをしましたところ、12月から週3便の直行便が実現したことを受けて、オーストラリア政府観光局からさらに交流を深めたいというご提案をいただきました。ワールドマスターズゲームズも控えておりますので、この機を捉えてより広範な交流をさせていただくために訪問団を派遣したいと考えております。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 京都府の議長に行っていたくんですね。

○副委員（山下晃正） はい。

○広域連合長（井戸敏三） 総勢何名ぐらいで行くんですか。

○副委員（山下晃正） 13人です。

○広域連合長（井戸敏三） 13人ですか。はい。ぜひしっかりと観光プレゼン等をしてきていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

それから続きまして、防災局から高病原性鳥インフルエンザの対応についてご報告させていただきます。

○広域防災局長 1月10日に香川県さぬき市におきまして鳥インフルエンザが発生いたしました。香川県におきましては1月12日に殺処分が行われ、22日には焼却処分

が完了しております。これを受けまして、関西広域連合といたしましては、2のところでございますが、1月10日に警戒本部を設置いたしまして、11日にはテレビ会議で警戒本部会議を開催いたしました。

また、構成団体の対応でございますが、徳島県におきましては、県内5カ所の消毒ポイントにおいて関係車両の消毒と、また、養鶏場、食鳥処理場におきまして検査をした結果、鳥インフルエンザが疑われる鳥の確認はないという状況でございます。

また、徳島県以外の構成団体におきましても、連絡会議の開催や養鶏関係者への注意喚起、また、養鶏農場への立入検査、聞き取り調査等を行っております。

その後、1月18日には、京都市におきましてカルガモ3羽の死亡個体のうちの1羽から鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が検出をされております。周辺10キロ圏内、京都市を中心に大阪府の一部がかかりますが、ここは野鳥監視の重点区域に指定をされております。

各構成団体におきましては、これを受けまして、また、香川県の事例を受けまして野鳥の監視強化、また、家禽農場の指導等を徹底しておりますが、今後も情報共有、また、防止対策に万全を期してまいります。

○広域連合長（井戸敏三） 続いてお願いします。

○広域防災局長 続きまして資料12でございますが、防災庁創設に向けましたシンポジウムの開催でございます。

既に広域連合におきまして懇話会の報告を受けたところでございますが、2月9日にパシフィコ横浜におきまして、震災対策技術展の一環といたしましてシンポジウムを開催することといたしております。基調講演は、座長であります河田先生をお願いをいたしております。また、パネルディスカッションとして、武田先生をコーディネーターといたしまして、内閣府の審議官であります米澤審議官にも出席をいただきましてパネルディスカッションを開催させていただきます。定員180名となっておりますが、各構成団体からもできるだけ参加いただければと思っております。

以上でございます。

○**広域連合長（井戸敏三）** 特にご質疑等ございますか。なければ次に進ませていただきます。

第15回関西文化の日の結果報告です。どうぞよろしく申し上げます。

○**副委員（山下晃正）** 関西文化の日、恒例になっておりますけども、去年の11月に開催をさせていただきました。

結果でございますが、参加施設も688と過去最大、入館いただいたお客さんの数も53万人と過去最大ということでございました。ご協力いただきまして大変ありがとうございました。

○**広域連合長（井戸敏三）** ありがとうございます。今年はもう少し頑張るのかな。どうぞよろしく申し上げます。

続いて、関西小学生のスポーツ交流大会につきましてご報告します。

○**広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部長** スポーツ部です。

資料14をお願いいたします。関西小学生スポーツ交流大会 ミニバスケットボール大会の開催についてご報告いたします。

趣旨につきましては記載のとおりでございますが、初めての開催となります今年度、2月12日月曜日、振替休日ですが、兵庫県の加古川市立総合体育館で行います。参加数は男女合計24チーム、計392名の参加を予定しております。具体の参加チームにつきましては記載のとおりとなっております。よろしくをお願いいたします。

○**広域連合長（井戸敏三）** 小学生のスポーツ交流大会もこのような形で展開してまいりますので、よろしくご協力をお願い申し上げたいと思います。

続きまして、指導者講習会はいいんですか。続けて申し上げます。

○**広域観光・文化・スポーツ振興局スポーツ部長** 資料15をお願いいたします。指導者講習会の開催についてご報告をいたします。

この講習会は、関西圏域内のスポーツ指導者を対象に、その指導力の向上を目的と

して、3月21日水曜日、祝日でございますが、開催をいたします。元阪神タイガースのトレーニングコーチの前田健氏、ロンドンオリンピック女性銅メダルチーム監督の眞鍋政義氏に講演をそれぞれいただきます。テーマにつきましては記載のとおりになっております。

また、続いて、「世界で戦う選手を育てる」というテーマで、パネリストとして、先ほどの2名に加えまして、小林祐梨子さん、山本貴司さんの2名に、それぞれプロフィールを記載しておりますけれども、この4名の方によりますシンポジウムを実施いたします。

この指導者講習会の実施場所ですけれども、尼崎市にあります、あましんアルカイックホール・オクトでございます。

参加者は無料で、先着600名ということになっております。今後、構成府県政令市を初め、体育協会等を通じましてスポーツ指導者の皆さんに奮ってのご参加をお願いすることとしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） よろしくご参加のほどをお願いいたします。

続いて、メディカルジャパンの開催について広域産業振興局からお願いいたします。

○広域産業振興局長 広域産業振興局でございます。

メディカルジャパンへの出展についてでございます。資料16でございます。

今回で4回目を迎えますこのイベントは、関西の強みであります医療・ライフサイエンス分野の産業ポテンシャルの発信や産学のマッチング等を通じて新たな投資や立地に結びつけようとする総合医療展でございます。2月21日から3日間、インテックス大阪で開催いたします。

広域連合のブースにおきましては、関西の先進的なプロジェクトのPRや、産学連携によって生まれた医療機器等の展示を行いますほか、映像やパネルにより関西各地域のバイオクラスターの特徴についてわかりやすく紹介するほか、医療機器分野へ参

入を目指す企業への個別相談等も行う予定でございます。

また、大学・研究機関と企業とのマッチングによる企業化を目指す46本のセミナーをアレンジするほか、先進的な関西の研究機関などの見学ツアーなども予定しております。多数の方のご来場を期待しておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

続いて、資料17でございます。東京インターナショナル・ギフト・ショー春2018への出展についてでございます。

産業振興局では、デザインや実用性にすぐれた関西の消費財を発掘し、CRAFT 14としてブランド化してPRしております。今回は、2月7日水曜日から3日間開催されます国際見本市、東京インターナショナル・ギフト・ショーに広域連合としてブース出展いたします。ブースでは、関西の技術、素材を生かしていることなどの基準を満たした中小企業の商品を公募し、審査を経て選定されました14商品を展示いたします。出展商品は資料の裏面のとおりでございます。

会期中は約5,000社の出展、約40万人の来場を見込んでおりまして、伝統と革新に支えられた関西のものづくり力を広くプロモーションしてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） なかなか各府県からここに応援に行けない場合には、東京事務所等にも皆さんに応援をしていただくようにご手配をいただくとありがたいと思います。おもしろい企画ですから、ぜひ推進したいと思います。

最後になりますけれども、3月の定例会でありますけれども、これは定例議会だけですか、委員会はやらないんですか。

○事務局 いえ、委員会もやります。

○広域連合長（井戸敏三） そうですね。午前中に委員会をやりまして、午後から3月の定例会が開催されますので、日程等よろしく願いをしたいと思います。

また、答弁はできるだけ簡素、簡単にさせていただいて時間厳守で臨みたいと思いま

すので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。一番の問題児は私ですので、よく注意をしたいと思っております。

以上ですが、他に何かありますか、事務局。

各委員の皆さんからは何かございますか。

6時を超してしまいました。大変強行軍でございましたけれども、それでは以上で第89回の関西広域連合の委員会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○事務局 記者の方で、もしご質問がありましたらお受けしたいと思います。よろしいですか。

ではこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後6時10分